

日本歯科色彩学会

「色 彩」

NEWS LETTER

第9号

1996年2月29日発行

事務局 日本歯科色彩学会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1

廣瀬お茶の水ビル4F

(クインテッセンス出版株式会社内)

TEL 03-3292-3691

FAX 03-3292-3639

発行者 橋口緯徳

(第9号担当：河野 篤、久光 久)

学会としての歯科色彩研究

会長 橋口緯徳

春いまだしの今日此の頃ですが、草の新芽は青々と、枯枝の様に見える木々の枝々も若い息吹が芽吹き始めています。

我日本歯科色彩研究会も、此の春の蠕動ぜんどうよろしく研究会から学会へと変化を遂げました。

皆様のご賛同、ご支持の賜物であります。

これを期に一層内容の充実、支持層の拡大に皆様のお力添えをいただきたいと願う次第であります。思えばこの研究会も1993年11月に設立され、会長を拝命してから、第1回設立総会を昭和大学医学部講堂で、第2回総会、学術大会を東歯大血脇記念講堂で、そして第3回を郡山の奥羽大学で、大会長、久光、腰原、潤田諸先生のもとで盛会裡に終了させて参りました。第2回までは研究会として発足以来進んで参りましたが、第3回の郡山奥羽大学の総会を期に日本歯科色彩学会と名称を改める事に致しました。学会と研究会、どこに違いがあるかと問われる所ではありますが、日本に於きましては、5、6人からのスタディグループを研究会、人数的に大規模のものを学会と称するのが通念となっております。この会も300人以上の大所帯になって参りましたので、此のあたりで学会と改称し、より多くの方々のご参加のもと、研究成果をそれなりに挙げ、またその成果をより多くの方々おえんに敷衍していく様務めたいと考える次第であります。

今迄色彩の研究は歯科に於いては忘れられて来た分野でありました。最も必要とされていたはずの色あわせという作業を行わなければならない歯科に於いて、これは不思議といわなければなりません。歯牙の色を唯、白色、乳白色と総括して考えていたためでもあるかもしれませんが、色の

前に堆積されていたう蝕歯の治療、咀嚼の問題と解決しなければならない多くの関門を持っていたためかもしれません。そうした問題はそれなりにいつも課題である事には変わりはありませんが、今まで置き去りにされてきた色の問題が、思いがけず深く広い大きさをもっている事も解って来ました。そこで私共は非常に捕まえにくい色彩をテーマに研究を進めていく事にした訳です。

そのうち歯科診療室の環境問題、歯科医療に関わる者の付けている衣服、その他の色彩の患者に与える影響などから、色のもつ人間心理への関与に気付き始めました。薄い色の衣服が着ているひとを拡大してみせるとか、暖色が人を和ませるとか、寒色が人をクールに落ち着かせるとか、色が人間心理に大きな変化をもたらす事も解って来ました。その上色の配色、混色等今まで美術の分野、デザインの分野でのみ問題にされてきた事が、私達にも知る必要があるという事も解って来ました。

これからは口腔内の事ばかりでなく、大きく社会一般の色彩にも目を向け、その上で古典芸能を始めとする日本人古来の色彩感覚から、世界の人々の色覚、或いはそうした歴史までも研究のテーマにしていきたいと思えます。一方物理的にも拡大、充実させ、色と光の波長、退色などなど、工業の分野で問題にされて来た分野まで知識を拡げていきたいものと思っています。そうしたものを歯科の分野に取り込んで、いろいろの面からの研究、それを噛み砕いて解りやすく人々に解説していく様な本や雑誌が出来ていく様に、私は望んでいます。

第3回 学術大会の報告

第3回学術大会を終えて

大会長 潤田和好

第3回日本歯科色彩研究会の理事会・評議員会は郡山ビューホテル阿武隈の間、懇親会は同ホテル・ロワゾブルーで、学術大会は奥羽大学歯学部附属病院臨床講義室において行われた。今回は会場を、はじめて東京を離れ地方都市で開催されるということや会期がインド歯科審美学会と重複したこと等から参加者の減少が懸念されましたが、会員や業者の方々並びに奥羽大学の並々ならぬ御協力が得られ、約130名の参加者があり、期待以上の盛会裡に開催する事が出来たことに対し、主催者として衷心より厚く感謝申し上げます。

この度の理事・評議員会における主議題の一つに本研究会の名称を”研究会”から”学会”へと改称する件があった。一部の理事から時期尚早ではないかとの意見も出されたが、”研究会”では一般のスタンダードと混同されることが多いので、これを避ける意図もあって昇格ではなく、改称とすることで承認された。この件は翌日の総会において承認され、決定した。従って第3回研究会は第3回学会となった。

学術大会では一般口演(12演題)、特別講演、シンポジウム並びに業者展示が行われた。一般口演は歯科の色彩学的研究が歯科治療に結びつく内容が多く、有意義な研究が目立った。特別講演は東北芸術工科大学教授の日原もとこ先生による「生活環境と色の役割」と題し講演され、人間が人間らしく明るく生活していく上に色が果たす役割が如何に重要であるかという楽しい内容のお話であった。

シンポジウムのメインテーマは「Computer Color Matchingの現状と将来展望」であり、今日最も注目されている話題である。シンポジウムはその基調講演をこのシステムを開発された石橋寛二氏(岩手医科大学教授)が行い、シンポジストとしては棟方明博氏(資生堂ビューティーサイエンス研究所)、片山伊九右衛門氏(特にCCSについて、明海大学教授)、永沢 栄氏(松本歯科大学歯科理工学講座)、坂口賢司氏(松本歯科大学衛生学院)、伊集院正俊氏(伊集院ポーセレン研究所)と多彩なメンバーにより詳細に且つ解りやすく行われた。会場からの熱心な質疑が多数、時間のたつのも感じさせないほどに終始した。予定発言者の方々には時間の関係上中止せざるを得なかったことに対する不手際を司会者としてお詫び申し上げます。午後5時すべての日程を終了し、次回の学術大会についてご担当の片山伊九右衛門先生からお話しいただき解散した。

一 総会報告 一

庶務報告

- | | |
|--|-------------------|
| 1) 会員数 (平成7年12月31日現在) | 正会員 254名 |
| | 賛助会員 19社 |
| | 合計 273名 |
| 2) 役員数 (平成7年12月31日現在) | 理事 35名 (常任理事 15名) |
| | 監事 2名 |
| | 評議員 63名 |
| | 幹事 1名 |
| | 合計 101名 |
| 3) 会費納入率 (平成7年12月31日現在) | |
| (正会員) 254名中161名納入、63% | |
| (賛助会員) 19社中18社納入、1社(クインテッセンス出版株式会社)免除、100% | |
| 4) 雑誌寄贈数 (平成7年12月31日現在) | |
| 「歯科の色彩②」(製作) 500冊 | |
| (寄贈数) 87冊 (大学図書館およびPR用として) | |

日本歯科色彩学会平成8年度暫定予算案

	項目	平成8年度暫定予算	平成7年度予算	差異	備考
歳入の部	前年度繰越金	3,347,164	2,850,441		
	会費	2,950,000	2,850,000		
	入会金	150,000	150,000		
	本年度会費	2,000,000	1,800,000		
	過年度会費	200,000	300,000		
	賛助会費	600,000	600,000		
	論文掲載料	300,000	400,000		
	広告掲載料	300,000	300,000		
	雑収入	300,000	500,000		
	(小計)	(3,850,000)	(4,050,000)		
合計	7,197,164	6,900,441			

歳出の部	学術大会運営費	500,000	500,000		
	学会誌	1,500,000	2,000,000		
	通信連絡費	330,000	330,000		
	事務費	250,000	120,000		
	交通費	200,000	200,000		
	会議費	150,000	200,000		
	ニュースター費	100,000	100,000		
	事業費	250,000	250,000		
	事務委託費	180,000	120,000		
	予備費	250,000	280,000		
(小計)	(3,710,000)	(4,100,000)			
次年度繰越金	3,487,164	2,800,441			
合計	7,197,164	6,900,441			

会則改正

- 1) 日本歯科色彩研究会 → 日本歯科色彩学会
- 2) (旧) 第25条 本会は機関誌「歯科の色彩」を年1回以上発行する。
(新) 第25条 本会は学会誌「歯科の色彩」を年1回以上発行する。
また、会員の親睦を図るためニュースターを年3回以上発行する。

新役員の承認

新理事 稲葉 繁 (日本歯科大学高齢者歯科学教授)
高橋 重雄 (松本歯科大学理工学教授)

国際歯科審美学会の協賛のお知らせ

第2回国際歯科審美学会が1997年4月4日から4月6日まで国立京都国際会館で「審美歯科の世界は一つ」をテーマに開催されます。日本歯科色彩学会はこの第2回国際歯科審美学会に協賛することになりました。

日本歯科色彩研究会平成7年度途中決算報告

(平成7年4月1日～平成7年12月31日)

	項目	平成7年度途中決算	平成7年度予算	差異	執行率	備考
歳入の部	前年度繰越金	2,850,441	2,850,441	0		
	会費	2,405,000	2,850,000	△445,000	84	
	入会金	100,000	150,000	△50,000	67	5,000×20名
	本年度会費	1,615,000	1,800,000	△185,000	90	10,000×161名(平成6年度正会員数254名中納入率63%)
	過次年度会費	150,000	300,000	△150,000	50	10,000×15名(過年度未納者44名中納入率32%、次年度納入1名有)
	賛助会費	540,000	600,000	△60,000	90	30,000×18口(平成6年度分19社18口納入1社免除)
	論文掲載料	247,716	400,000	△152,284	62	5件
	広告掲載料	260,000	300,000	△40,000	87	6件
	雑収入	212,240	500,000	△287,760	42	「歯科色彩の話」印税(42,403) 利息(624) 演色カード(21,000)
		(小計)	(3,124,956)	(4,050,000)	(△925,044)	(77)
	合計	5,975,397	6,900,441	△925,044	87	

歳出の部	学術大会運営費	500,000	500,000	0	100	
	研究会誌	1,169,952	2,000,000	△830,048	58	印刷費(1,120,640) 別刷(49,312)
	通信連絡費	268,016	330,000	△61,984	81	通信費(253,030) 振込料(14,986)
	事務費	124,068	120,000	4,068	103	封筒等印刷代(119,438) 文具代(4,630)
	交通費	134,000	200,000	△66,000	67	
	会議費	74,839	200,000	△125,161	37	
	ニュースレター費	19,070	100,000	△80,930	19	第6号、第7号
	事業費	150,000	250,000	△100,000	60	3件
	事務委託費	120,000	120,000	0	100	
	予備費	68,288	280,000	△211,712	24	見舞金(35,450) 著作権登録料(690) データベース作成費(32,148)
	(小計)	(2,628,233)	(4,100,000)	(△1,844,160)	(64)	
	次年度繰越金	3,347,164	2,800,441	546,723	120	
	合計	5,975,397	6,900,441	△925,044	87	

上記1995年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます。

1996年1月20日 和久本貞雄 印
神津 瑛 印

第4回日本歯科色彩学会総会ならびに学術大会案内

第4回の総会および学術大会は平成8年9月8日、東京都（担当校：明海大学歯学部保存修復学講座、大会長：片山伊九右衛門教授）において下記の通りに開催することになりました。多数の会員の皆様方のご発表とご参加をお願い致します。

平成8年2月

日本歯科色彩学会会長 橋口綽徳

記

1. 会期：平成8年9月8日（日）9:00～16:00
2. 会場：日本歯科大学九段ホール
〒102 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学
3. 研究発表の申し込み
 - 1) 演題申し込み締め切り日：平成8年6月8日（土）
 - 2) 発表抄録原稿締め切り日：平成8年7月8日（月）
 - 3) 募集内容：口演発表（基礎研究、臨床的研究、臨床報告）
 - 4) 発表時間：12分（発表9分、質疑3分）
 - 5) 申し込み法：演題申し込みは、演題申し込み書に必要事項を記入の上、演題申し込み締め切り日までにお送り下さい。
 - 6) 演題採否：第4回大会会長に一任させていただきます。採用の分につきましては、折り返し採用通知および発表抄録原稿用記入用紙を送付させていただきます。
 - 7) 申し込み先：〒350-02 埼玉県坂戸市けやき台1-1
明海大学歯学部保存修復学講座 片山伊九右衛門 宛
TEL 0492 (85) 5511 FAX 0492 (71) 5808

— — — — — きりとり — — — — —

第4回日本歯科色彩学会学術大会演題申し込み書

演題名	
発表者氏名 (演者に○印)	
所属	
発表者連絡先	TEL: _____ FAX: _____

「歯科の色彩」 第3号1巻 原稿締切せまる

日本歯科色彩学会機関誌である「歯科の色彩」では皆様の論文投稿をお待ちしております。

今回は依頼1編、総説1編、原著論文5編と多くの方から投稿頂きました。お陰様で多くの方に参考にしていただき、ご意見などを頂きました。厚くお礼申し上げます。

さて第3号1巻ですが、平成8年8月末日発行を予定しております。今年は学会としてスタートを始める記念すべき年です。ふるってご投稿下さい。

原稿の締切は平成8年4月末日となっております。投稿票はすでに発行済の「歯科の色彩」第2号1巻のものをご利用下さい。新規会員のかたは下記の編集委員会にご請求下さい。折り返し投稿規定ならびに投稿票を送付させていただきます。今般、原稿のワープロ等の利用が多くなってきております。その際には必ずフロッピーディスクを同封してください。

また会員の皆様のご意見を誌面に反映するために、提案用紙等も雑誌に添付してあります。より良い雑誌を作製するためにご協力をお願い申し上げます。

投稿先および投稿票請求先：

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1
廣瀬お茶の水ビル4階
クインテッセンス出版株式会社内
日本歯科色彩学会「歯科の色彩」編集委員会
TEL 03 (3292) 3691 FAX 03 (3292) 3696

総会報告

庶務報告

1) 会員数 (平成7年12月31日現在)

正会員 254名

書名「J」申請賞会大術学会学深杏株歯本日回4第

2) 役員数 (平成7年12月31日現在)

理事 35名 (常任理事 15名) 副理事

監事 2名

評議員 63名

幹事 1名

合計 101名

杏林歯科
(旧〇〇歯科)

3) 会費納入率 (平成7年12月31日現在)

(正会員) 254名中161名納入、63%

(賛助会員) 10社中18社納入、1社(クインテッセンス出版株式会社)未納 100%

4) 雑誌寄贈数 (平成7年12月31日現在)

「歯科の色彩」(制作) 500部

(寄贈数) 87部 (大学図書館およびPR用として)